



85 タイヌビエ



イネ科

花時期 8～10月

イヌビエの変種。水田の中でイネにまじって、生える。イネの穂が出る前に穂を出し実を落とすので絶滅させるのが非常に難しい。イネより背が高くなり、紫色の穂をつけるのでよく目につきます。

(近似種:イヌビエ)

86 タカサブロウ



キク科

花時期 8～9月

やや湿り気のある道ばたなどに生える高さ20～70cmの1年草。横に倒れて広がるものが多い。葉や茎にザラザラした剛毛がある。葉は対生。頭花は直径1cmで、まわりに白色の舌状花が2列に並び、内側には緑白色の筒状花がつく。

(近似種:ハキダメギク)



87 タガラシ



キンポウゲ科

花時期 4～5月

水田や溝などに生える高さ30～50cmの2年草。プロトアネモニンを含んでいるので、かむと辛みがあることから田辛し(タガラシ)と名がついた。葉は3深裂し、裂片はさらに細かく裂ける。花は黄色で直径0.8～1cm。花の後は長さ1cmほどの集合果になる。

(近似種:キツネノボタン)



89 タチイヌノフグリ □

ゴマノハグサ科

花時期 3～10月

越年草。道ばたや畑にむらがってはえる。

オオイヌノフグリに似ているが、葉や花は小さく茎はまっすぐに立ち上がり、葉は三角状で、先がとがり、毛がはえている。花には柄がなく、果実も小さい。

(近似種:オオイヌノフグリ)

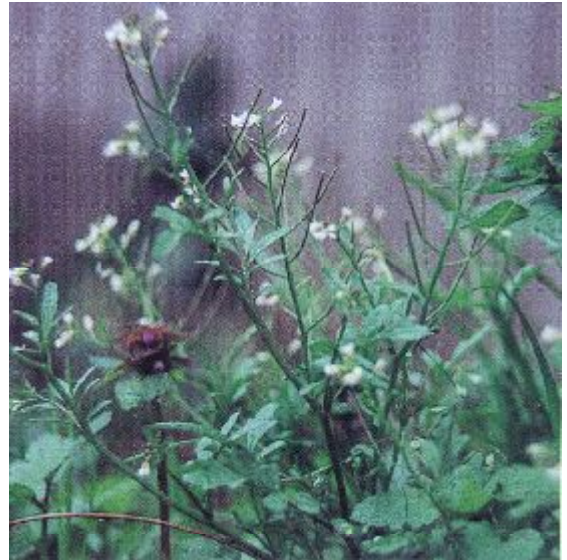
91 タネツケバナ □

アブラナ科

花時期 4～6月

田のあぜや水辺に群生する高さは20～30cmの2年草。先端は十字形の花を連ね、白いきれいな花を咲かせる。果実は長さ約2cmの細長い円柱形。名前の由来は種もみを水につけ苗代の準備をする頃、花が咲くことから名が付いた。

(近似種:オランダガラシ)



92 タマシダ □

シノブ科

東海地方から四国、九州の海岸地帯に生え、しばしば大きな群落をつくる。葉は40～60cm、単羽状で、羽状の基部の前側は小耳状に突出する。株もとを掘ると、地下に白色～褐色の鱗片でおおわれた球形の水分を貯めている塊茎がある。



93 チガヤ



イネ科

時期 4～6月

葉は細く、先端がとがっている。子犬のしっぽのような花穂を持ち、やわらかい白い毛が密集しているが雄しべの葯(やく)と柱頭には赤紫色。若い花穂や白い根は口に含むとほかな甘みがある。カヤとはチガヤ・ススキなど昔の屋根を葺くのに使う草の総称。

96 チヂミザサ

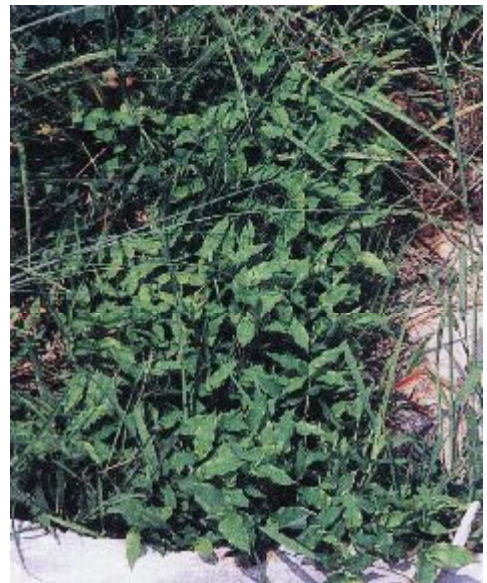


イネ科

花時期 8～10月

葉の幅が広く、笹の葉に似ていて、ふちが縮れていることから名が付いた。山野の林の中や道ばたに生える10～30cmの多年草。

地をはって分枝し、緑が濃く光沢がある葉は狭卵形で、基部は心形で縁は波を打つ。円錐花序は枝がなく、小穂は10内外の節に数個が集まる。



98 ツボクサ



セリ科

花時期 5～8月

壺草と書くが、壺は坪とも書き、庭という意味。林内などに生える多年草。茎は地上をほう。葉は長柄ある腎臓状の円形で直径2.5～5cmへりに低い鋸歯がある。花は小さく目立たない。花卉は子房より小さく、上部は紫色を帯びる。雄しべの葯は暗紫色。



100 ツユクサ



ツユクサ科

花時期 6～9月

一年草。道ばたにはえ、茎の下部は地面をはいながめに立ち上がる。葉はやわらかく、そのもとはさやになっていて茎を包む。花は包にはさまれ、3枚の小さいがく片と3枚の花弁(2枚は大きい)がある。

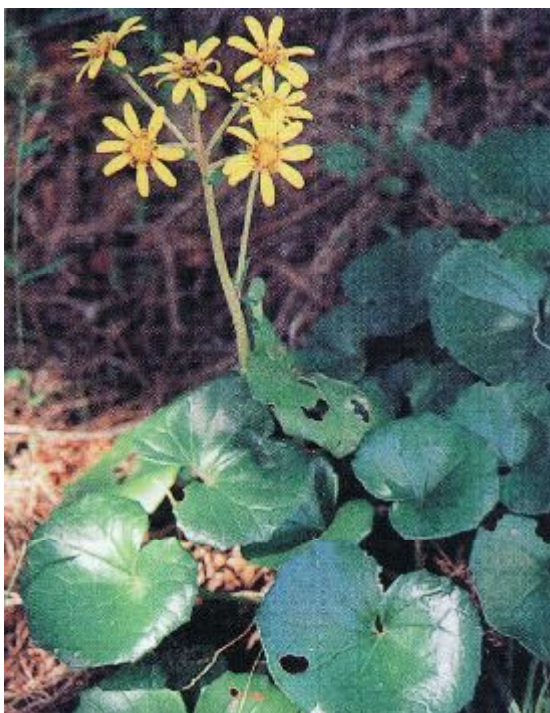
102 ツルボ



ユリ科

花時期 8～9月

山野の日当たりのよいところに生える多年草。鱗茎は卵球形で黒褐色の外皮に包まれ、ネギのような臭いがする。花茎は20～40cmで淡紅紫色の花を総状に多数つける。



103 ツワブキ

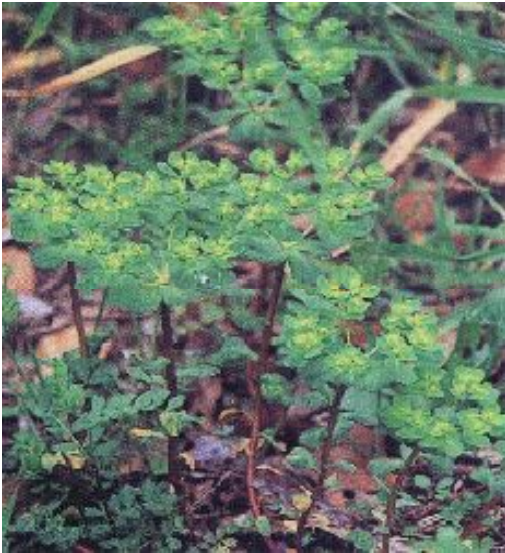


キク科

花時期 10～12月

葉に光沢があるので艶薺(つやぶき)がなまったと言われる。初冬に黄色の花が咲くので冬の季語にもなっている。海岸の岩の上や崖などにも生える多年草。葉柄はフキと同じように、「きやらぶき」にして食べる。

(近似種:フキ、アキタブキ)



104 トウダイグサ □

トウダイグサ科

花時期 4～6月

全体の形が油を入れた皿を置く昔の燈台に似ていることから名がついた。日当たりのよい畑や道ばたなどに生える。茎の高さ 30cm ほどの越年草で、花は茎の先端に 5 枚の葉が輪になってついていて、そこから放射状に枝を出して花を咲かせている。茎から出る乳液は有毒。

106 ドクダミ □

ドクダミ科

花時期 6～8月

宿根草。野原のやぶかげにはえる。全体にむらさきががり、いやなにおいがある。花は穂になりびっしりつくが花にはがくも花弁もなく、3本の雄しべと3本の花柱があるだけで、花弁のように見える4枚は総包片である。

ドクダミ茶。おできなどにきく。



107 ナズナ □

アフラナ科

花時期 3～6月

越年草。道ばたにはえる。根もよの葉はかたまって四方に広がり、きれこみが深くて柄がある。茎は春早くまっすぐに立ち、柄のない葉と、たくさんの花をつける。

ぺんぺん草=果実の形が三味線のばちになているのでいう。春の七草の一つ。

(近似種:グンバイナズ)



109 ニラ



ユリ科

花時期 8～9月

古事記にカミラの名で登場したのがなまって名がついたという説あり。全体に特有の臭気がある。葉は長さ 30cm の扁平な線形。花茎は高さ 30～50cm になり、先端に白い花を散形状態に多数つける。

110 ニワゼキショウ



アヤメ科

花時期 4～6月

日当りの良い道ばたや芝生の中などに生える多年草。茎は高さ 10～30cm、扁平でせまい稜がある。葉は剣状で2列に互生し、基部は鞘となって至を抱く。黄色を帯びた2枚の合着した基部から3～5個の細い花柄を出し直径 15mm 内外の白紫色か紅紫色の花をつける。

(近似種: オオニワゼキショウ)



115 ノコンギク

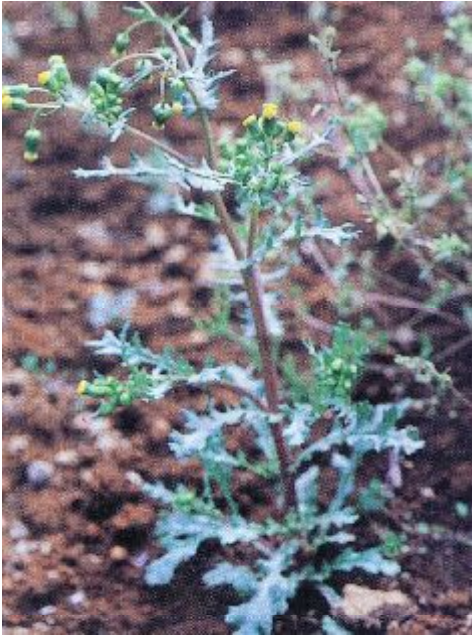


キク科

花時期 8～11月

山野にふつうに見られる高さ 0.5～1m の多年草。地下茎をのぼして増える。枝や葉の両面に短毛がありざらつく。頭花は直径約 2.5cm。舌状花は淡紫色で一列。

(近似種: コンギク、シロヨメナ)



117 ノボロギク □

キク科

花時期 ほぼ1年中

道ばたや畑などにふつうに生えるヨーロッパ原産の1年草。葉や茎はやわらかく、よく分枝し高さ30cmほどになる。葉は互生し、ふぞろいの波状をしている。頭花は黄色で、ふつう筒状花だけが集まり、舌状花はまれにしかない。

118 ハキダメギク □

キク科

花時期 6～11月

大正時代に東京の世田谷のはきだめではじめて見つけられ名が付いた。北アメリカ原産の1年草。茎の高さは15～60cmで、卵形をした葉は対生し、葉と茎に細かい毛がある。花は5つの白色の花弁からなり、内側に黄色の筒状花が多数ついて、かわいらしい花を咲かせる



119 ハコベ (ミドリハコベ) □

ナデシコ科

花時期 3～9月

野原・道ばたなどにはえる2年草。茎は下部が地をはい、上部は斜上に立ち、長さ30cmになり、片側1列に毛がある。葉は対生で、卵形で先はとがる。下部の葉には葉柄があるが、上部のものは無柄。白い花弁は5枚だが2裂しており、10枚の花弁に見える。花柱の数は3本である。(近似種：コハコベ)



120 ハハコグサ □

キク科

花時期 4～6月

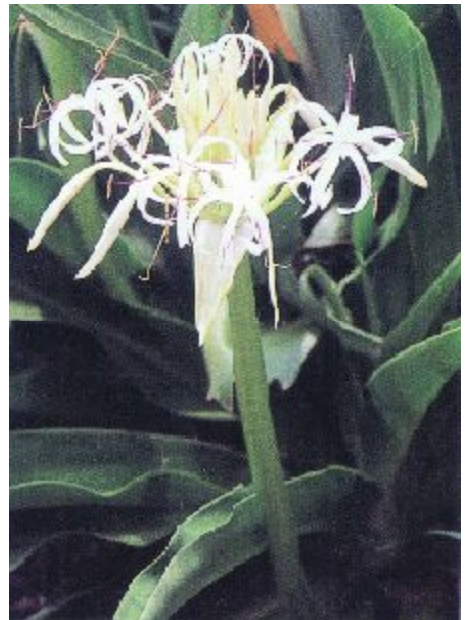
越年草。田畑のやや湿地にはえる。小さな頭花は、茎の上のほうにかたまってくる。総苞片はうす黄色で管状花は細長い。春の七草の一つ。オギョウとも呼ばれる。若い葉は草もちに。

121 ハマオモト (ハマユウ) □

ヒガンバナ科

花時期 7～9月

常緑の葉がオモト(万年青)に似ていることによる。別名の浜木綿は白い鱗茎を木綿に見たてたものとか、白い花が木綿に似ているからなどの説がある。暖地の海岸の砂地に生える常緑の多年草。花には芳香があり、特に夜は香りが強い。種子は水に浮くので、海流によって運ばれる。



122 ハマカンゾウ □

ユリ科

花時期 7～9月

暖地の海岸近くの岩上や草地に生える多年草。葉は長さ60～70cm、幅1～1.5cmで厚みがあり、冬でも枯れないで残る。

燈赤色の花を3～6個つける。

(近似種:ヤブカンゾウ、ノカンゾウ)



123 ハマスゲ



カヤツリグサ科

花時期 7～10月

海岸や畑、道ばたなど、日当たりのよい乾燥したところに多い高さ15～40cmの多年草。葉は細くてかたい。葉は根元に数個つき線形。茎の先に花序より長い苞が1～2個あり、その間から1～7個の枝を出して、先端に赤褐色の小穂を3～8個つける。

(近似種:カヤツリグサ)

124 ハルジオン

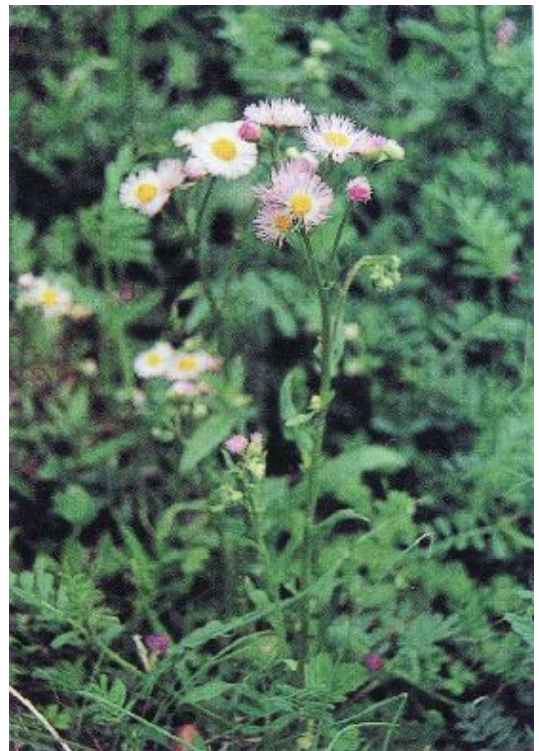


キク科

花時期 5～7月

高さ20～30cm。茎は中空で、つぼみは下を向く。葉は茎を抱くようにつく。冬はロゼット状。葉の表面に毛がはえていて、白っぽく見える。若芽は煮物・あえ物になる。

(近似種:ヒメジョオン)



125 ハルノゲシ



キク科

花時期 4～6月

ロゼット上の根生葉で越冬し、春には太い茎をたてる1～多年草。茎と葉は柔らかく、葉は淡緑色で光沢はない。茎葉の基部はとがった耳となって茎を抱く。葉の鋸歯の先は柔らかい。茎や葉を折ると白い乳汁が出る。葉の形や乳汁を出すことからケシのよだと名が付いた。揚げ物・おひたし

(近似種:オニノゲシ)



127 ヒガンバナ



ヒガンバナ科

花時期 9月

秋の彼岸の頃に花が咲くことから名がついた。田のあぜや土手などに群生する多年草。葉は晩秋にのびはじめ、深緑色で光沢があり線形。花茎は高さ30～50cmになり鮮紅色の花を散形状に5～7個つける。鱗茎はアルカロイドを含み有毒だが飢饉の時にはよく水にさらして食用にした。

129 ヒメオドリコソウ



シソ科

花時期 4～5月

ヨーロッパ原産の2年草。茎は四角形で高さは10～25cmで根元は横にはう。葉は対生で卵形、鈍い鋸歯があり、網目状の脈が目立つ。上部の葉は赤紫色を帯びる。上部の葉腋に長さ1cmの淡紅色の唇形花を密につける。



130 ヒメジョオン



キク科

花時期 6～10月

北アメリカ原産の1～2年草。明治維新の頃渡来し現在は日本中に広がっている。茎の高さは1.3mになり、粗い毛がある。内部には白い髓がつまっている。上部の葉は披針形で先はとがり、基部は細くなり茎は抱かない。頭花は直径2cmで舌状花は白または淡紫色。

(近似種:ハルジオン、ヘラバヒメジョオン)



132 ヒルザキツキミソウ □

アカバナ科

花時期 5～7月

マツヨイグサの仲間であるが、昼咲き系で、茎上の葉には低鋸歯があり、先がとがっている。茎はしばしば木化する高さ 30～60cm の多年草。花は白色または淡紅色で直径 5cm 程度。茎および子房には曲がった短毛が多い。栽培品が野生化したものと思われる。

133 フキ □

キク科

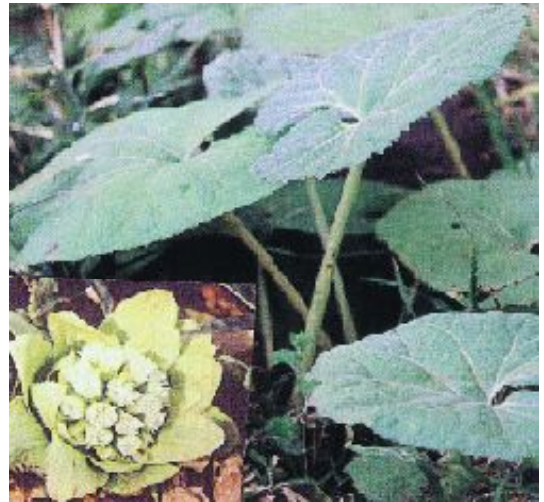
花時期 3～5月

根は地下茎を伸ばし繁殖。雌雄異株で雄花は黄色っぽく、雌株は白っぽい。

淡緑色の苞に包まれた若い花茎がフキノトウ。

ほろ苦く早春の味として親しまれている。

(近似種:ツワブキ)



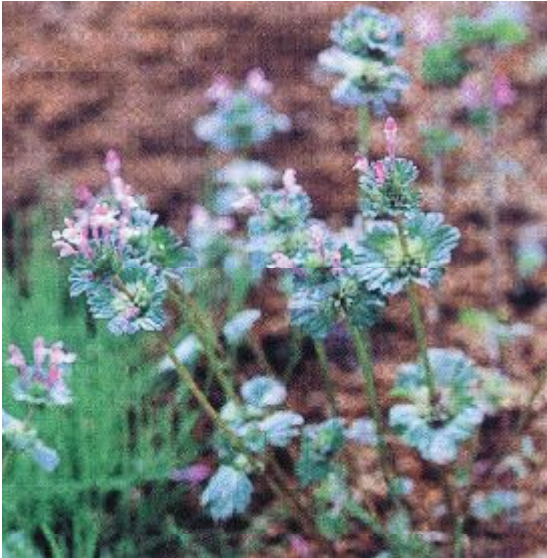
135 ブタナ □

キク科

花時期 6～9月

名前は、フランスの俗名で Salada de pore(ブタのサラダ)を訳した豚菜。ヨーロッパ原産の多年草。葉はすべて根生し、分裂しないものから羽状に深裂するものまで変化がある。花茎は高さ 50cm 以上になり上部で 1～3 個枝分かれする。頭花は黄色で直径 3～4cm。

(近似種:コウゾリナ)



141 ホトケノザ □

シソ科

花時期 4～6月

別名サンガイグサ。畑や道ばたに普通に生える2～多年草。四角形で細い茎は10～30cmになり、やや紫色を帯びる。葉は対生。上部の葉は、葉柄が無く、向かい合った葉とともに茎を抱く様が、仏様が座る台座に似ているのでこの名が付いている。春の七草に出てくる同名の花は、コオニタビラコという別種。

142 ホトトギス □

ユリ科

花時期 8～9月

名前は、花の斑点を鳥のホトトギスの胸の斑点に見立てたものという。山地のやや湿ったところに生える多年草。茎はふつう分枝せず、崖などに生えると垂れ下がる。茎には上向きの褐色の毛が密生。花の内側に紅紫色の斑点が多数あり、下部には黄色の斑紋がある。

(近似種:ヤマホトトギス)



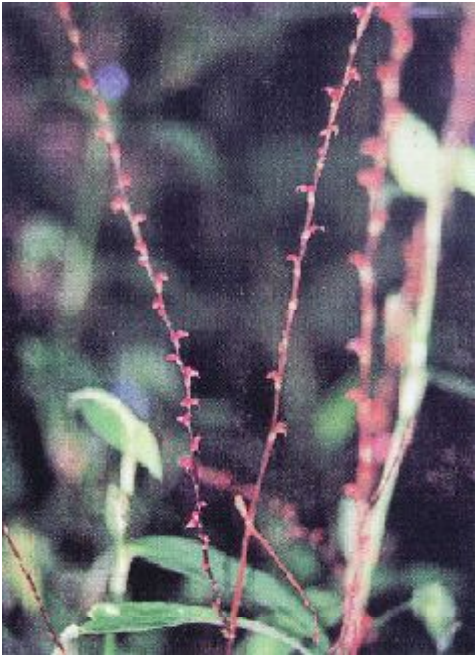
143 ホナガイヌビユ (アオビユ) □

ヒユ科

花時期 6～11月

最近イヌビユにかわって増えつつある。葉は互生して菱形卵形でイヌビユより大きく、先はあまりへこまない。茎の先や葉腋に緑色の花穂をつけ、胞果は淡褐色になり、細かいしわが目立つ。

(近似種:イヌビユ)



146 ミズヒキ



タデ科

花時期 8～10月

花序を上から見ると赤く、下からは白く見えることから名がついた。林ややぶのふちなどに生える高さ 50～80cm の多年草。葉は互生し広楕円形～倒卵形で先は急にとがり、中央付近にしばしば黒い斑点がある。茎の先に 30cm の細い総状花序を出し、小さな花がまばらに横向きにつく。

148 ミソハギ

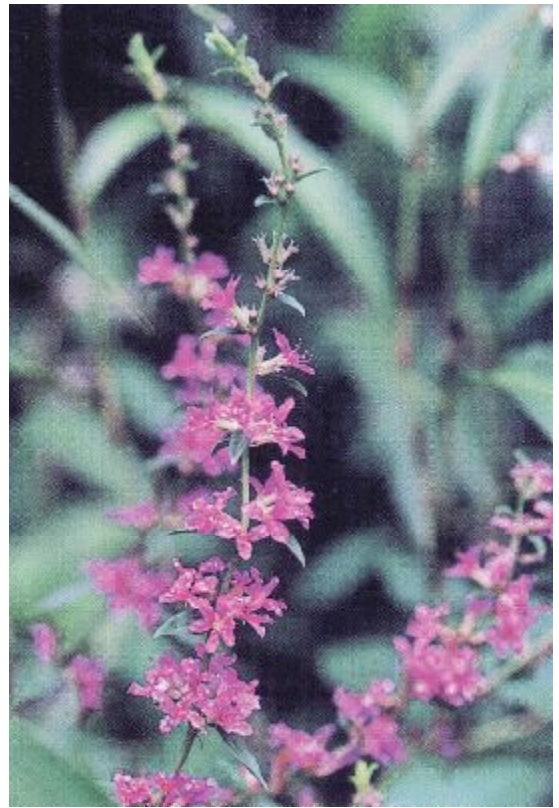


ミソハギ科

花時期 7～8月

山野の湿地に生える高さ 0.5～1m の多年草。葉は十字状に対生し、広被針形で基部は茎を抱かない。花は紅紫色で花弁は 4～6 個。雄しべは 12 個数で 6 個が長く、6 個が短い。

(近似種:エゾミソハギ、ヒメミソハギ)



149 ミチバタガラシ



アブラナ科

花時期 5～8月

日当たりの悪い庭のすみや道ばたなどに多い多年草。イヌガラシに似ているが、全体に小型で、茎は、はうか斜上する。花にはふつう花弁がなく、果実はまっすぐで湾曲しない。

(近似種:イヌガラシ、イヌナズナ)



152 ムラサキカタバミ □

カタバミ科

花時期 5～10月

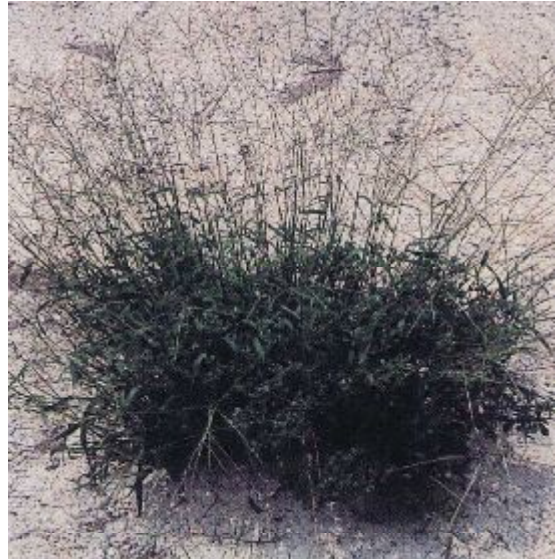
江戸時代末期観賞用として渡来した。各地の庭や畑、道ばたなどに生える多年草。結実せず、地下に茶色の小鱗茎を作り増えていく。花茎や葉柄に長い毛がある。花茎は10～30cm、花は淡紅色で7～15個。葉は根生し10～20cmの葉柄の先に3枚のハート形の小葉をつける。小葉の裏には暗褐色の細点がある。

156 メヒシバ □

イネ科

花時期 7～11月

道ばた・耕作地など人家周辺に普通に見られる1年草。茎の下部は地をはって発根し斜めに立ち上がり、数多く分岐し高さ30～100cmにもなる。早期に除草しないと、駆除しにくい雑草となる。葉鞘に開出する長毛があり、葉は最大で長さ20cm、幅1.5cmぐらい。花序の枝は掌状に3～9個つく。



157 ヤエムグラ □

アカネ科

花時期 4～6月

いく重にも折り重なって生えるのでこの名がついた。人里近くのやぶや荒地にごくふつうに生える。線形の葉は6～8枚、茎を取り巻くように輪になってついている。花はわずか1mmほどで、黄緑色。茎には下向きに小さなトゲが密生し、足にからみついてくる。

(近似種:ヤブムグラ、ヨツバムグラ)



160 ヤブヘビイチゴ

バラ科

花時期 4～6月

やぶや林のふちなどに生える多年草。ヘビイチゴより大型で葉の色は濃緑色で3小葉からなる。小葉の長さは3～4cm。花は直径約2cmで黄色。果実は濃紅色で光沢がある。

(近似種：ヘビイチゴ)

162 ヤブラン

ユリ科

花時期 8～10月

山野の木陰に生える多年草。庭や公園などに下草としてよく植えられる。葉は根生し、長さ30～60cmの線形。花茎は高さ30～50cmになり、淡紫色の小さな花が総状に多数つく。種子は直径6～7mmの球形で光沢のある黒色。



165 ヨウシュヤマゴボウ

ヤマゴボウ科

花時期 6～9月

茎は太くて赤みをおび、盛んに枝分かれして高さ1m以上に伸びる。花は白色で小さく地味だが、秋が深まる頃にブドウに似た濃紫色の果実をつける。熟した黒紫色の果実をつぶすと紅紫色の汁が出るので、アメリカではインク・ベリーとよぶ。若葉は食べられる。



166 ヨツバムグラ □

アカネ科

花時期 5～6月

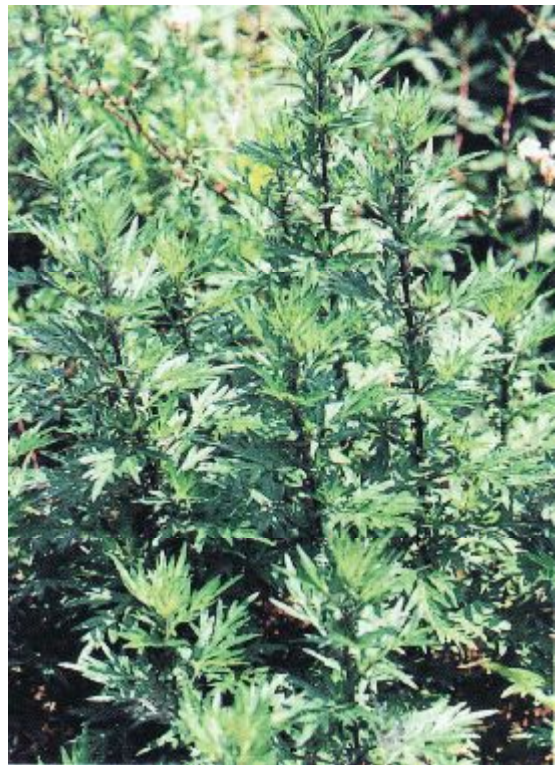
名の由来は、葉が4個輪生することによる。田のあぜや道ばたに多い高さ20～50cmの多年草。葉は卵状の長だ円形か、だ円形。黄緑色で直径約1.5mmの花が咲く。

(近似種：ヤエムグラ)

167 ヨモギ (モチグサ) □

花時期 9～10月

多年草。野原にはえる。茎はたくさん枝分かれして、白い毛がある。葉は羽状に深く切れ込み、裏には白い毛が多いのでまっ白に見える。(この綿毛を集めたものが灸に使うモグサ)。頭花は小さくてたくさんつき、管状花はうすい茶色。若芽をつんで、もち草にする。



169 ワルナスビ □

ナス科

花時期 6～10月

刺が多く、始末に困る害草である。北アメリカ原産の多年草。根茎を長くのぼして広がり、茎や葉には星状の毛がある。茎は節ごとにくの字に曲がり、葉は互生で長楕円形。花は淡紫色または白色の花をつけ、実は球形で黄色に熟す。

(近似種：イヌホウズキ、キンギンナスビ)